MAG-970A　7類　2003年10月1日発行

TOSTEM トステム株式会社

テールポートワイド　取付け説明書

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注　意

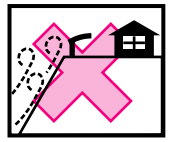
●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

〔設置条件〕

・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
・テールポートワイド（一般地域用600タイプ）は積雪（新雪）20cm以下の地域用です。
・本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。

〔部材の固定〕

・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。



〔基礎〕

・基礎は当社指定寸法以上にしてください。

※地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。

・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

〔施工〕

・取付けは、専門業者の方が行ってください。
・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

●水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

〔シーリング処理〕

・指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

●製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

〔絶縁処理〕

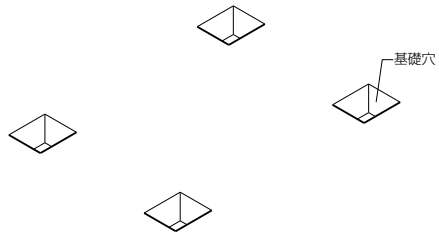
・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ形材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■施工上のお願い

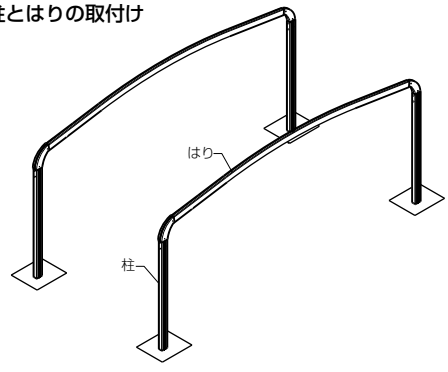
●水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。

■取付け順序（基本タイプ）

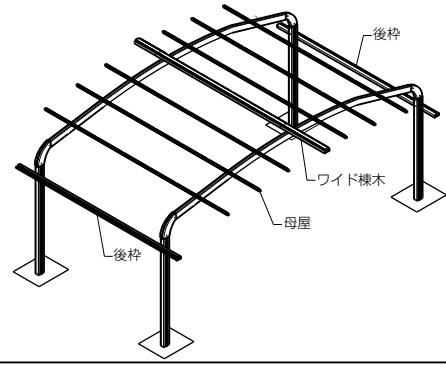
1 基礎の施工



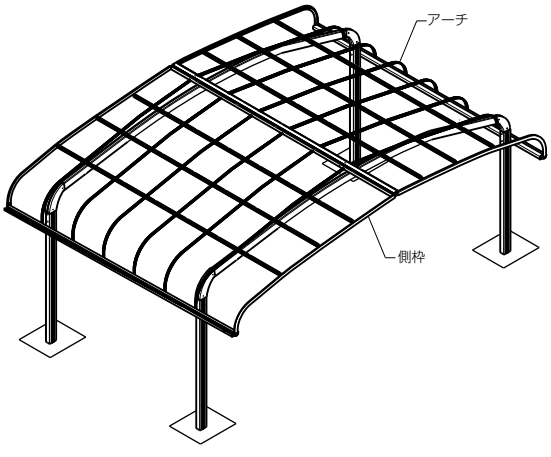
2 柱とはりの取付け



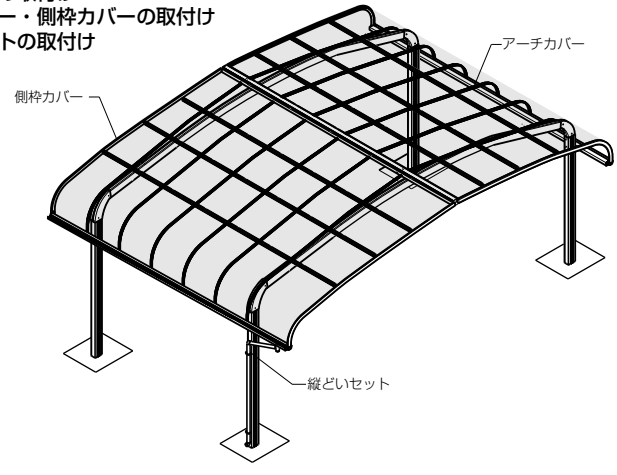
3 ワイド棟木・母屋・後枠の取付け



4 側枠・アーチの取付け

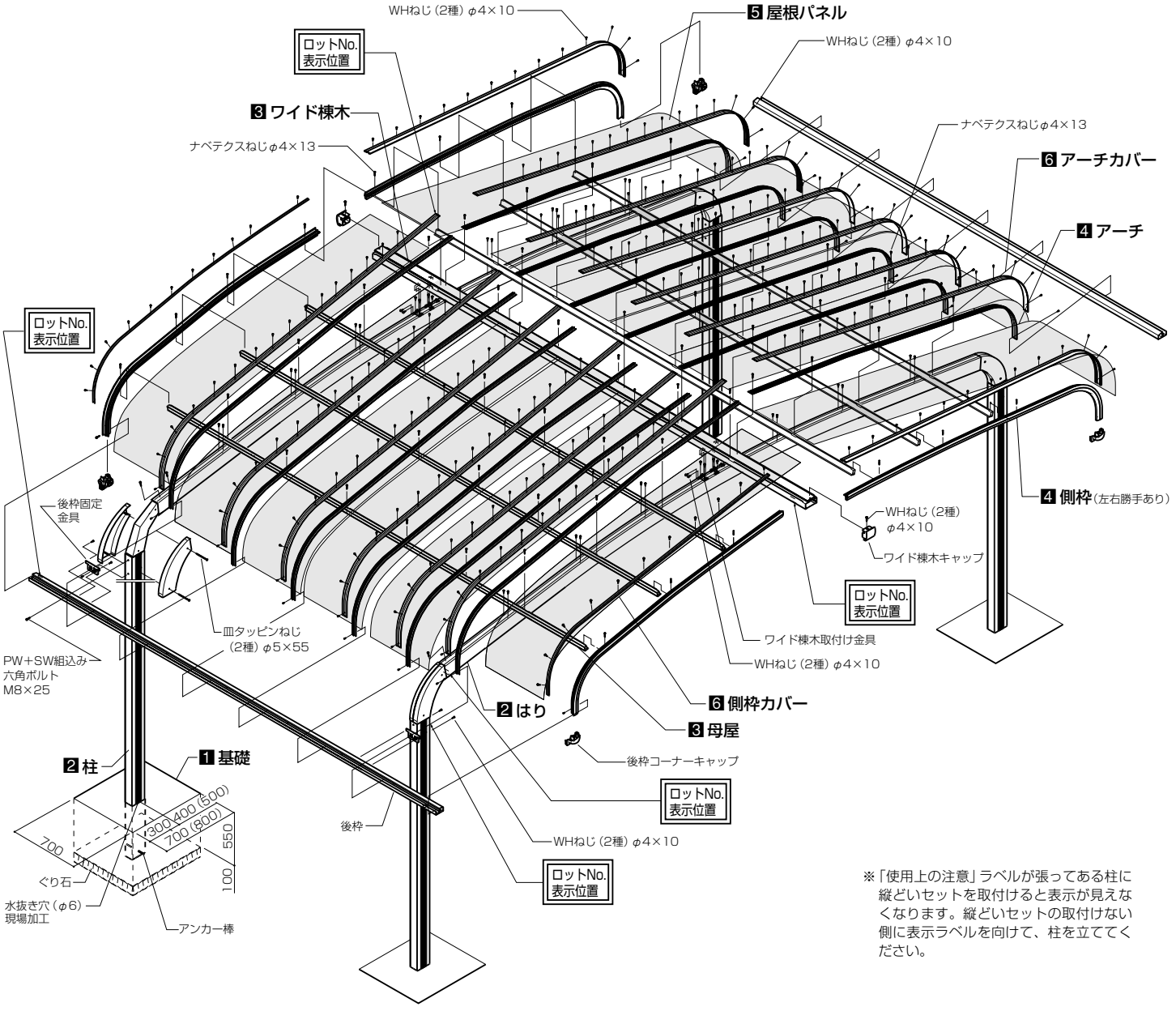


5 屋根パネルの取付け
6 アーチカバー・側枠カバーの取付け
7 縦どいセットの取付け



■構造説明図

※（　）内寸法は30サイズの場合を示します。
※□内はロットNo.表示位置を示します。



※「使用上の注意」ラベルが張ってある柱に縦どいセットを取付けると表示が見えなくなります。縦どいセットの取付けない側に表示ラベルを向けて、柱を立ててください。

■取付け詳細（基本タイプ）

1 基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。

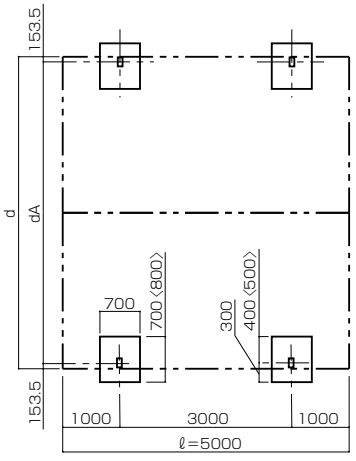
■墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。
※〈　〉内寸法は30サイズの場合を示します。
※図の二点鎖線は屋根の投影図を示す。

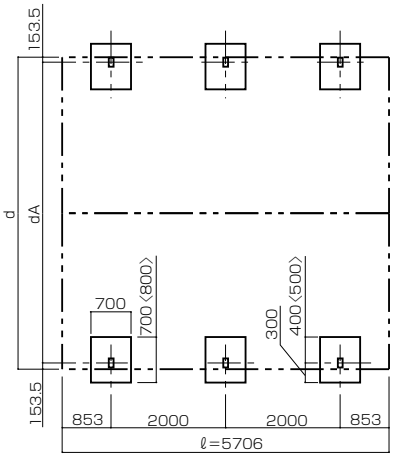
単位mm

サイズ呼称	d	dA
48	4826	4519
54	5432	5125
60	6053	5746

●50サイズ

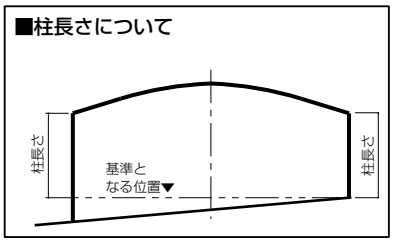


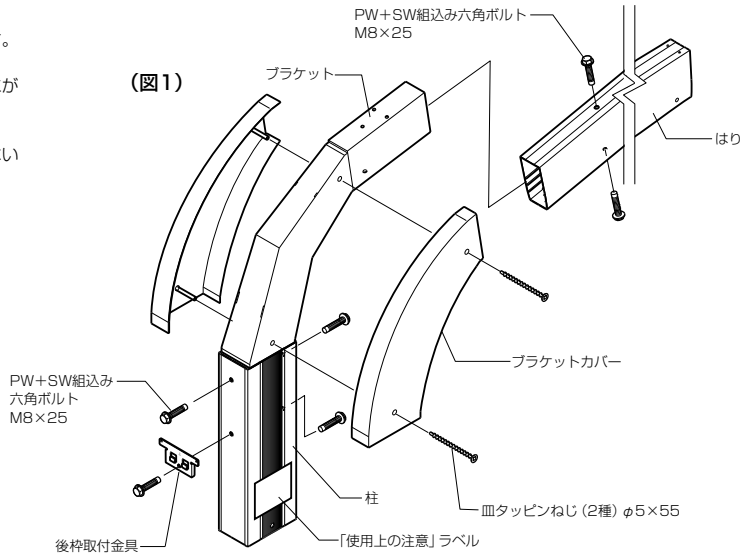
●57サイズ



2 柱とはりの取付け（図1）

①柱にブラケット・アンカー棒をそれぞれ取付け、柱を建込みます。
②はりをブラケットに取付けます。その後、ブラケットカバーを取付けます。
※使用上の注意ラベルが張ってある柱に縦どいセットを取付けると、表示が見えなくなります。縦どいセットの取付けがない面に表示ラベルを向けてください。
※基準となる位置からの柱長さを同じにしてください。長さが違う場合、ワイド棟木部に水がたまり漏水するおそれがあります。
※ブラケットを柱に固定する際、後枠取付金具を共締めしてください。
※柱の基礎固めは製品完成後に行ってください。施工誤差によりブラケットやはりが入らない場合があります。

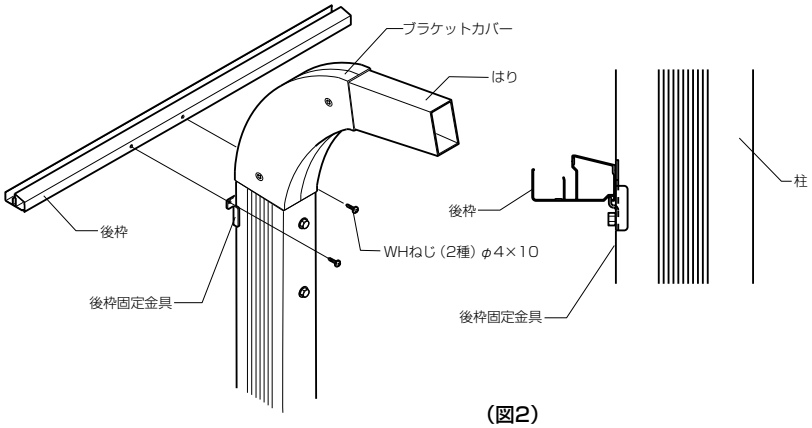




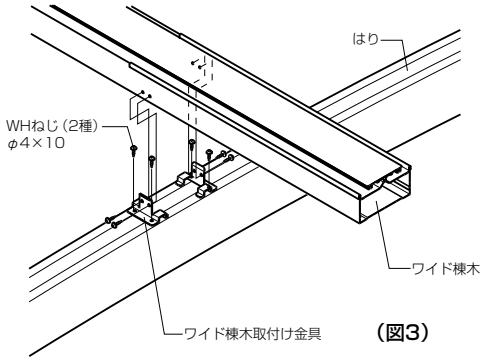
（図1）

3 ワイド棟木・母屋・後枠の取付け

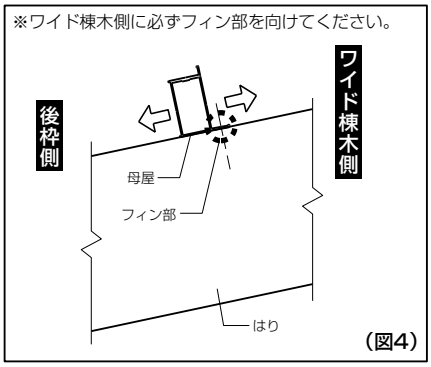
①後枠を後枠固定金具に引っ掛け、固定します。（図2）
②はりの中央部にワイド棟木取付け金具を取付け、ワイド棟木を固定します。（図3）
③ワイド棟木側にフィン部を向け、母屋をはりに取付けます。（図4）
※柱を移動した場合は、ワイド棟木・後枠・母屋をはりに合わせて後枠・ワイド棟木はφ3.5、母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。
※既存の加工穴には穴ふさぎシールを張ってください。



（図2）



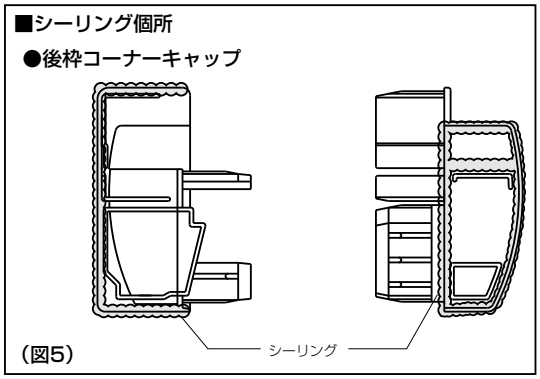
（図3）



（図4）

4 側枠・アーチの取付け

①後枠コーナーキャップにコーキング材を充てんし（図5）、側枠に取付けます。
※側枠には左右があります。切欠きが入っている方を後側枠にしてください。
②後枠・母屋・ワイド棟木に側枠を取付けます。
③後枠・母屋・ワイド棟木にアーチを取付けます。
④屋根枠まわりの対角・水平出し及び柱の垂直出しをします。
※母屋・ワイド棟木には加工穴があいていません。側枠・アーチ側の穴に合わせナベテクスねじφ4×13で止めてください。



（図5）

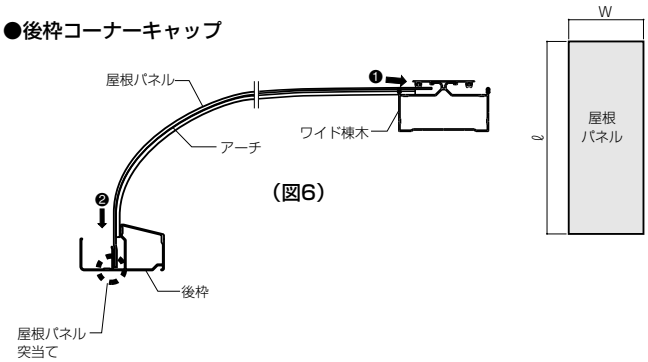
5 屋根パネルの取付け

①屋根パネルをワイド棟木に差込み、パネル受けに差込んでください。（図6）
※屋根パネルは後枠側に突当ててください。
※アーチ部ののみ込み寸法は左右均等（16.5mm）にしてください。

■屋根パネル寸法表

サイズ呼称	ℓ	W
48	2799	689
54	3105	
60	3428	

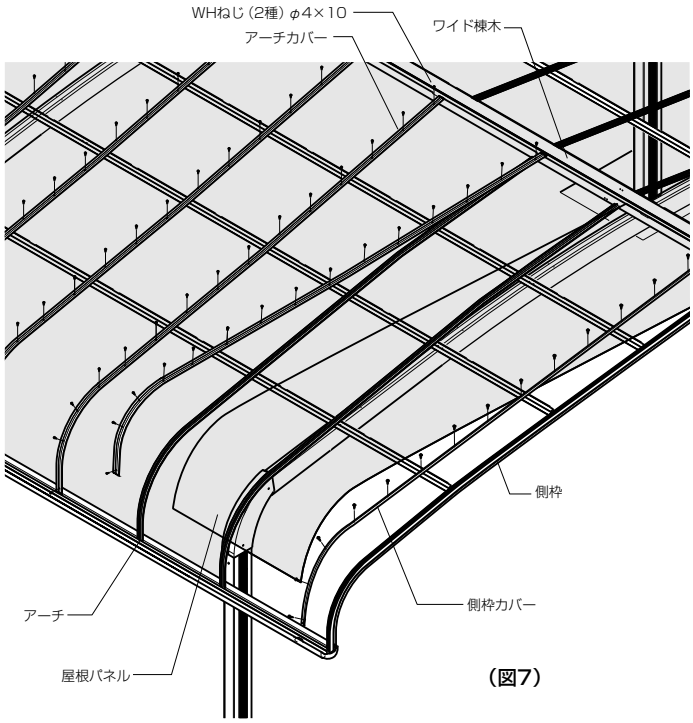
●後枠コーナーキャップ



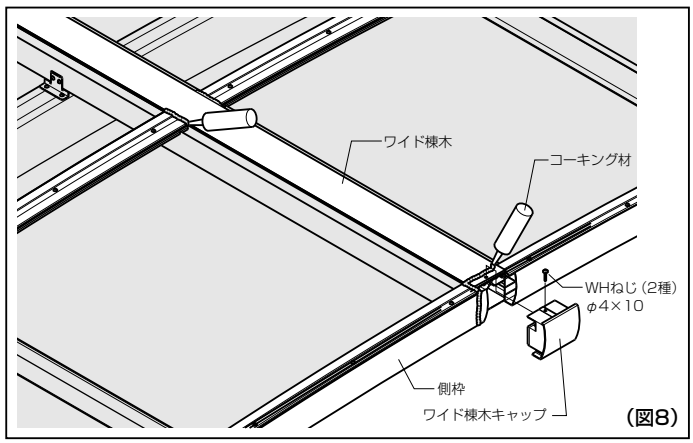
（図6）

6 アーチカバー・側枠カバーの取付け

①アーチカバー・側枠カバーをワイド棟木に突当てます。
②ワイド棟木側からアーチにねじ止めします。（図7）
※アーチとかみ合っていることを確認してください。
③アーチカバーとワイド棟木との間にコーキング材を充てんします。
④ワイド棟木キャップをワイド棟木にねじ止めします。※側枠カバー、ワイド棟木、ワイド棟木キャップとの間にコーキング材を充てんしてください。（図8）



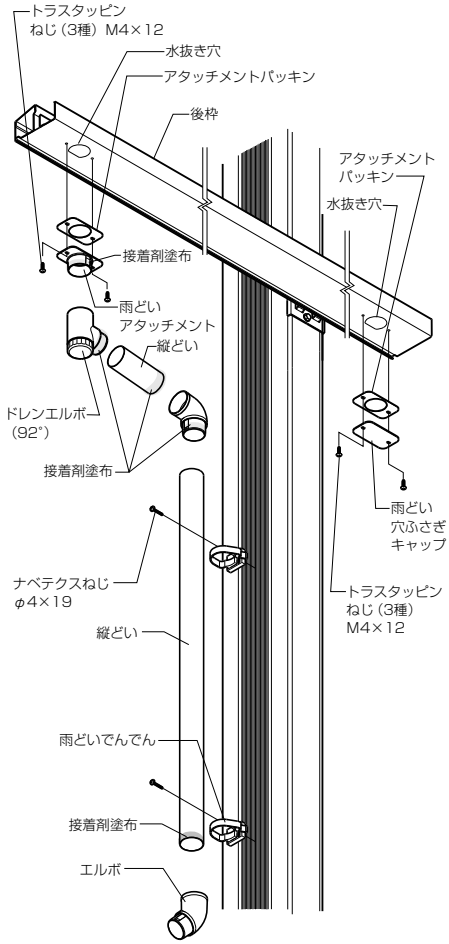
（図7）



（図8）

7 縦どいセットの取付け

①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方に縦どいセットを取付けます。（図9）
②もう一方の穴に雨どいアタッチメント（穴ふさぎ）を取付けます。



（図9）

■縦連棟の取付け

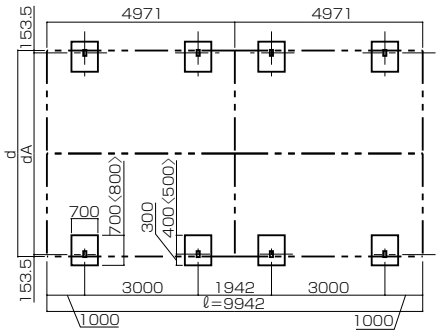
1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘込みます。
※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

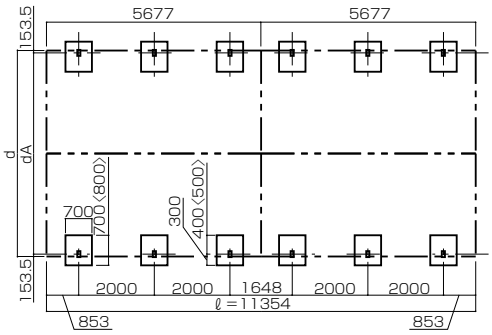
単位mm

サイズ呼称	d	dA
48	4826	4519
54	5432	5125
60	6053	5746

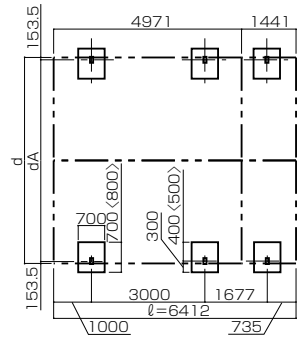
●50サイズ+50サイズ



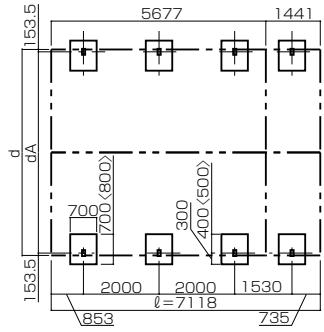
●57サイズ+57サイズ



●50サイズ+14サイズ



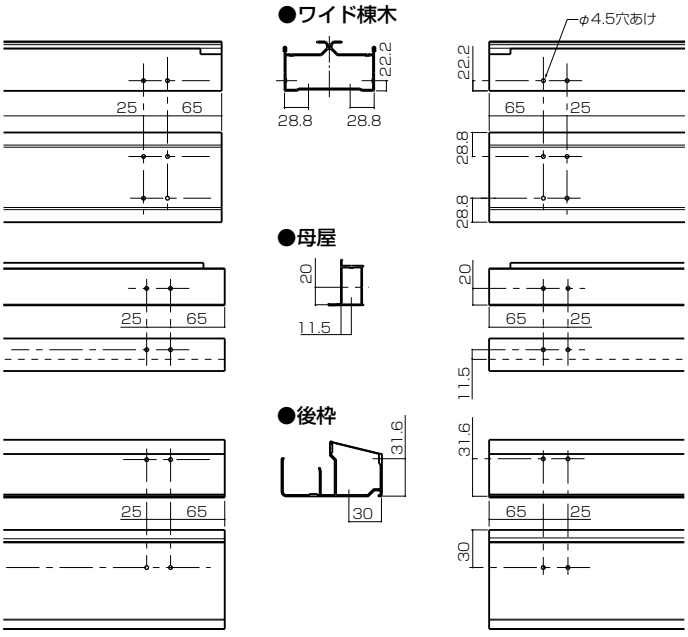
●57サイズ+14サイズ



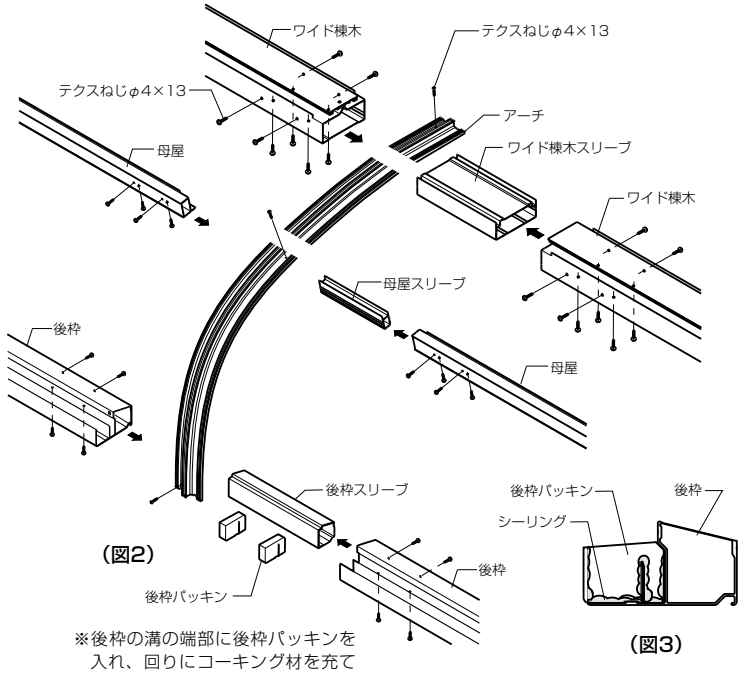
※図の二点鎖線は屋根の投影図を示す。

1 本体の組立て

①組立て前に、ワイド棟木・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。(図1)
②連棟部分を組立てます。(図2)
※連棟部分にコーキング材を充てんし、連棟スリーブ・ワイド棟木・母屋・後枠をそれぞれ接続します。(図4)
③ワイド棟木の接続部分にワイド棟木止水パッキンを張付けます。(図5)
※アーチカバーとワイド棟木の間にコーキング材を充てんしてください。



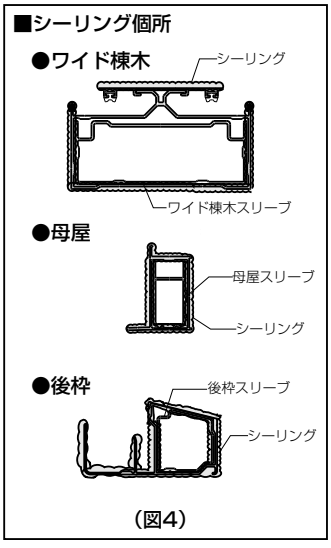
(図1)



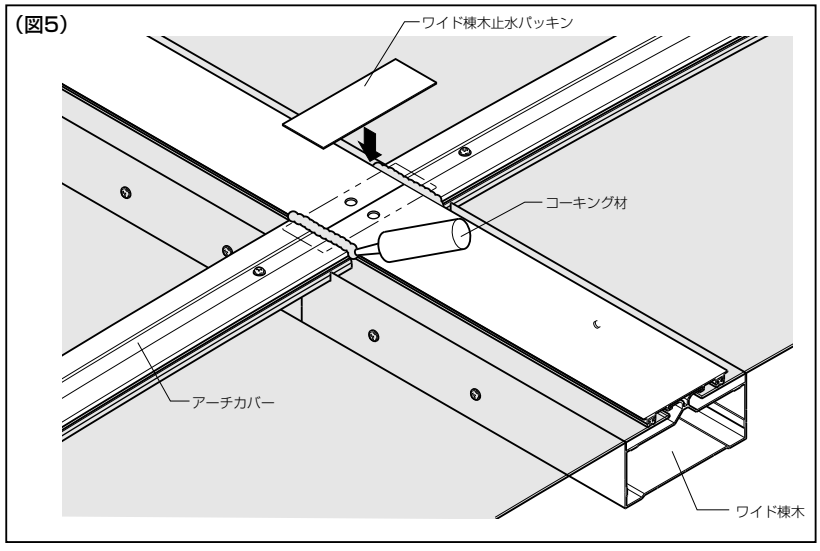
(図2)

※後枠の溝の端部に後枠パッキンを入れ、回りにコーキング材を充てんしてください。(図3)

(図3)

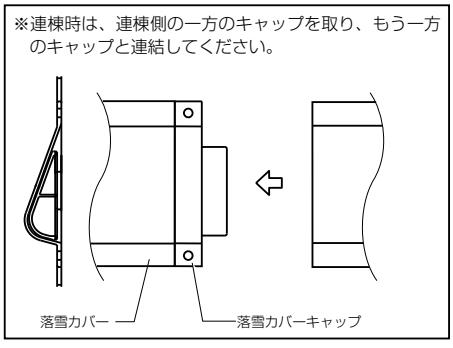


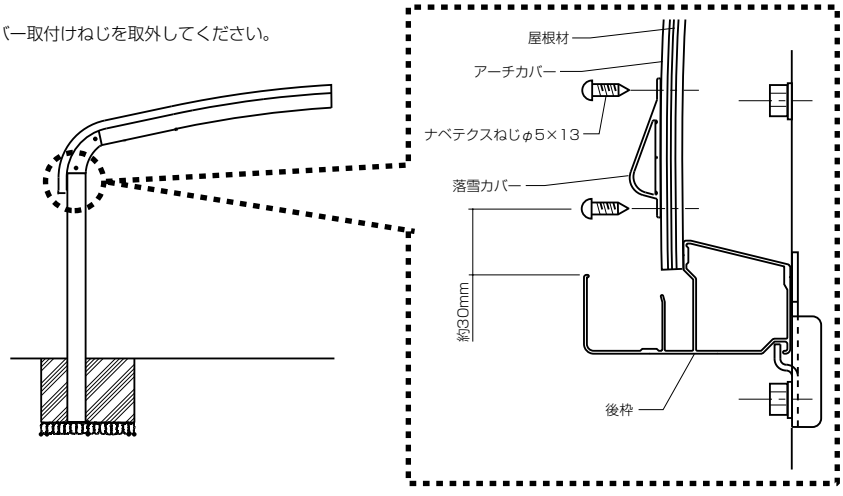
(図4)



3 落雪カバーの取付け

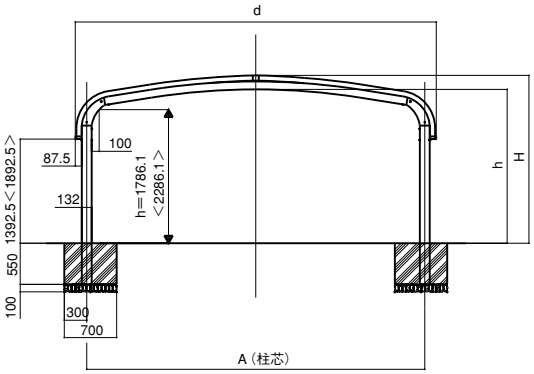
①落雪カバーの端部に落雪カバーキャップを取付けます。
②アーチカバーの上に落雪カバーを置き、位置を決めます。
③落雪カバーをアーチカバー、側枠カバーに固定します。
※落雪カバーがアーチカバー取付けねじと干渉する場合は、アーチカバー取付けねじを取外してください。



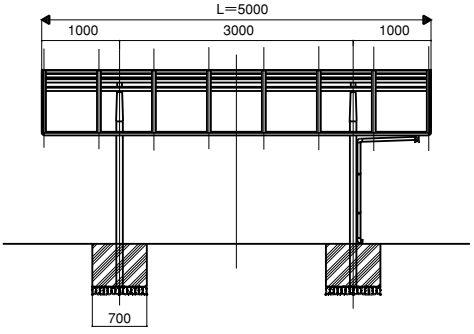


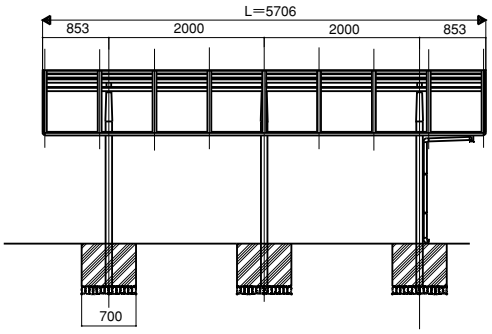
■参考納まり図

●基本タイプ



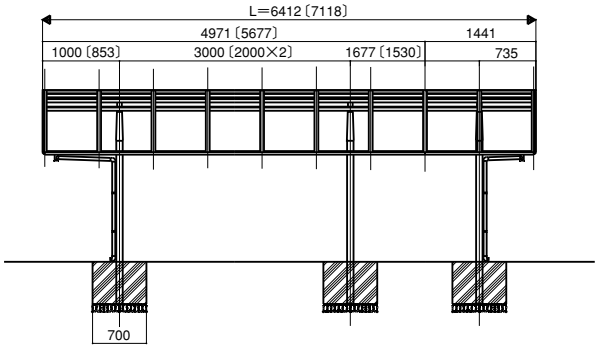
サイズ	d	h	H	A
48	4826	2244.2＜2744.2＞	2056.9＜2556.9＞	4519
54	5432	2104.9＜2604.9＞	2292.2＜2792.2＞	5125
60	6053	2201.2＜2701.2＞	2387.2＜2587.2＞	5746

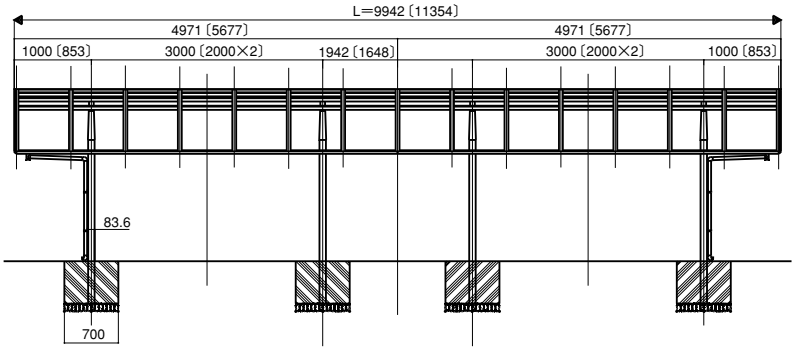




※本図は h=18サイズを示す。ロング柱仕様は＜　＞に示す。

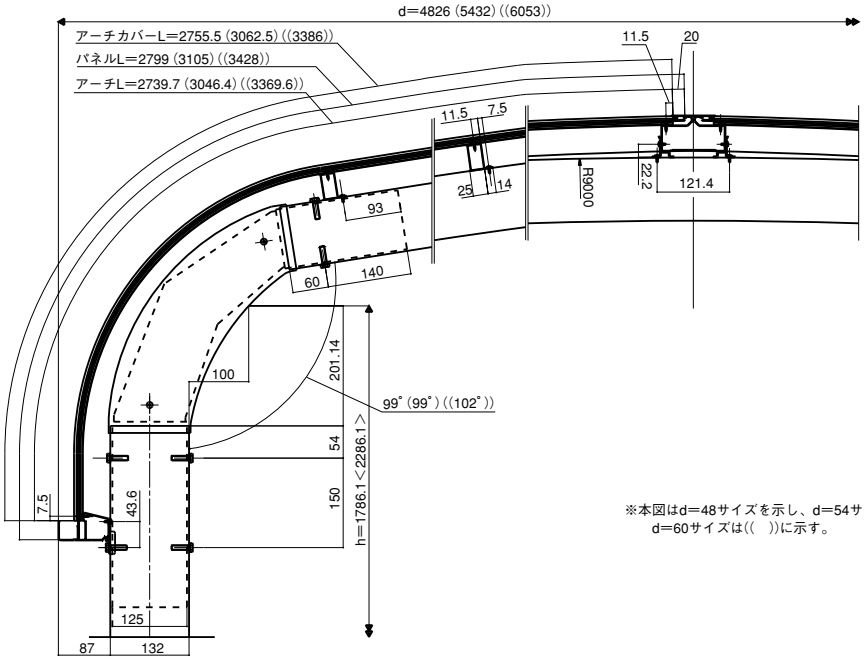
●縦連棟





※本図は L=50サイズを示す。L=57サイズは〔　〕に示す。

●断面図



※本図はd=48サイズを示し、d=54サイズは(　)
d=60サイズは((　))に示す。